プロテイン・BCAA・グルタミン・HMB



(コレステロール)EPA・カテキン・キトサン (内臓脂肪)葛の花由来イソフラボン・ラクトフェリン

2 体脂肪量が高い場合 ◀------





コレステロール

内臓脂肪

乳酸菌・ビフィズス菌・食物繊維

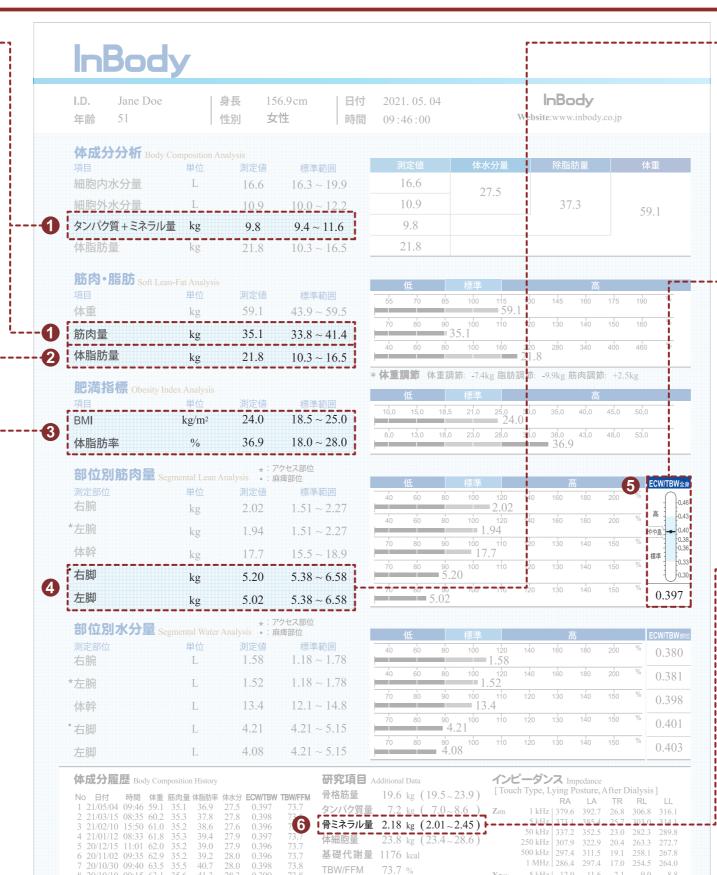


③ BMIが高く体脂肪率も高い場合 **◆------**

共役リノール酸・フォルスコリン・L-カルニチン・ギムネマ



体脂肪



5.8 kg/m²

8 20/10/10 09:15 63.1 35.6 41.3 28.3 0.399

9 20/09/08 10:09 64.0 35.6 41.3 28.5 0.399 10 20/08/11 11:45 65.3 35.8 42.0 28.6 0.400 11 20/07/02 11:01 66.0 35.7 42.5 28.5 0.401

12 20/06/15 10:39 66.1 35.9 43.0 28.4 0.401

(関節)グルコサミン・ヒアルロン酸・コラーゲン・コンドロイチン (筋肉)プロテイン・BCAA・グルタミン・HMB





------▶ 6 細胞外水分比が高い場合

(体液循環)DHA・イチョウ葉エキス (むくみ)メリーロド・γ-トコフェロール





体液循環

··▶ **⑥** 骨ミネラル量が少ない場合

カルシウム・マグネシウム・ビタミンD・大豆イソフラボン



5 kHz | 12.0 11.6 2.1 9.0 8.8

50 kHz 26.2 25.0 2.3 19.8 19.1 250 kHz 23.3 21.6 2.4 13.1 13.9

50 kHz | 4.5 4.1 5.7 4.0 3.8

Whole Body Phase Angle(θ)

むくみ

^{*}水分均衡はむくみによって崩れやすいですが、筋肉量の減少で細胞内水分量が 減った時も崩れることがあります。筋肉量が少ない上に細胞外水分比が高い場合、 先ず筋肉量を増やす必要があります。

[△] 当資料は一般的に公開されている成分の効果を参考に作成されています。

[△] 体成分の測定結果を基にサプリメントを摂取するときは、必ず専門家と相談してください。

[⚠] 各成分を含むサプリメントの摂取が必ず該当する体成分の改善を保証するわけではありません。

● タンパク質量・筋肉量

栄養成分	主な作用
プロテイン	筋肉を維持・増加させる
BCAA	
グルタミン	筋肉合成を促進し、分解を抑制する
HMB	

2 体脂肪量

栄養成分	主な作用
EPA	
カテキン	コレステロールを下げる
キトサン	
葛の花由来イソフラボン	内臓脂肪量の増加を抑制する
ラクトフェリン	よ7mが旧m 重か中 m を計画 る の

栄養成分	主な作用
乳酸菌	
ビフィズス菌	腸内環境を整える
食物繊維	

3 BMI·体脂肪率

栄養成分	主な作用
共役リノール酸	脂肪を分解・消費させる
フォルスコリン	相別で万胜・府員でせる
L-カルニチン	脂肪を燃焼しやすくする
ギムネマ	脂肪を蓄積しにくくする

InBody

I.D. Jane Doe 年齢 51			156.9cm 女性	日付 時間	2021. 05. 04 09:46:00	W	InBody ebsite:www.inbody.co.	jp	グルコサミン	軟骨
									ヒアルロン酸	₩ Ħ
体成分分析 Body Cor 項目	mposition A: 単位	nalysis 測定値	標準範囲		測定値	体水分量	除脂肪量	体重	 コラーゲン	
細胞内水分量	L	16.6	16.3 ~ 19.	.9	16.6	27.5				
細胞外水分量	L	10.9	10.0 ~ 12.	.2	10.9	21.5	37.3	59.1	コンドロイチン	
タンパク質 + ミネラル量	kg	9.8	9.4 ~ 11.0	6	9.8			37.1		

8.0 13.0 18.0 23.0 28.0 38.0 43.0 48.0 53.0 36.9

40 60 80 100 120

40 60 80 100 120

70 80 90 100 17 70 80 90 100

80 90 4.08

70 80

筋肉・脂肪 Soft Lean-Fat Analysis

21.8

	項目	単位	測定値	標準範囲	55	70	85	100	115	130	145	160	175	190	%
	体重	kg	59.1	43.9 ~ 59.5					= 59.	1					
1	筋肉量	kg	35.1	33.8 ~ 41.4	70	80	90	100 5.1	110	120	130	140	150	160	%
2	体脂肪量	kg	21.8	10.3 ~ 16.5	40	60	80	100	160	21.8	280	340	400	460	%
					* 体重	調節(本重調館	ñ: -7.41	kg 脂肪	調節: .	9.9kg 1	筋肉調節	節: +2.5	ikg	

kg 21.8 10.3 ~ 16.5

項目	単位	測定値	標準範囲
BMI	kg/m²	24.0	18.5 ~ 25.0
体脂肪率	%	36.9	18.0 ~ 28.0

部位別筋肉量。	*・アクセス部位 Segmental Lean Analysis •:麻痺部位					
測定部位 右腕	単位 kg	測定値 2.02	標準範囲 1.51 ~ 2.27			
*左腕	kg	1.94	1.51 ~ 2.27			
体幹	kg	17.7	15.5 ~ 18.9			
右脚	kg	5.20	5.38 ~ 6.58			

	体幹	kg	17.7	15.5 ~ 18.9
•	右脚	kg	5.20	5.38 ~ 6.58
•	左脚	kg	5.02	5.38 ~ 6.58



測定部位 右腕	単位 L	測定値 1.58	標準範囲 1.18 ~ 1.78
*左腕	L	1.52	1.18 ~ 1.78
体幹	L	13.4	12.1 ~ 14.8
•右脚	L	4.21	4.21 ~ 5.15
左脚	L	4.08	4.21 ~ 5.15



5.8 kg/m²

500 kHz 297.4 311.5 19.1 258.1 267.8 1 MHz | 286.4 297.4 17.0 254.5 264.0 5 kHz | 12.0 11.6 2.1 9.0 8.8 50 kHz 26.2 25.0 2.3 19.8 19.1 250 kHz 23.3 21.6 2.4 13.1 13.9 Whole Body Phase $Angle(\theta)$ 50 kHz | 4.5 4.1 5.7 4.0 3.8

120 130 140 150

110 120 130 140 150 %

インピーダンス Impedance

35.0 40.0 45.0 50.0

0.397

0.380

0.401

0.403

4 下半身筋肉量

栄養成分	主な作用
グルコサミン	軟骨や関節液の生成を促進する
ヒアルロン酸	* (特別がの主席を促進する
コラーゲン	関節痛を改善する
コンドロイチン	

5 細胞外水分比

	栄養成分	主な作用			
	DHA	血流を改善する			
	イチョウ葉エキス				
	メリーロド				
	γ-トコフェロール	の人ので 小り・以出する			

6 骨ミネラル量

	栄養成分	主な作用
•	カルシウム	骨と歯を形成する
	マグネシウム	
	ビタミンD	骨や歯を丈夫にする
	大豆イソフラボン	

△ 当資料は一般的に公開されている成分の効果を参考に作成されています。

△ 体成分の測定結果を基にサプリメントを摂取するときは、必ず専門家と相談してください。

△ 各成分を含むサプリメントの摂取が必ず該当する体成分の改善を保証するわけではありません。